

にボンボリがついて、みんなでそこを登って花見をしたものだよ。

昔は、中郷以外の人から見れば、ついでに滝桜も見に行こうか、くらいの感じだったんじゃないかな。

**(柳沼)** 滝桜に力を入れ始めたのは、前の町長からじゃないかな。

**(白岩)** そうかもしれないね。自分が中学校卒業するまで、そんなことはなかったからね。滝桜が注目されはじめたのは、昭和50年代頃からかな。

**(橋本)** 昭和50年頃までは、今のようによくさんの観光客が来なかったから、滝桜のうえの広場に店も出ていてね。消防団でもそこで花見をやっていた。

**(協会長)** 出店も昭和40年頃から出るようになったけど、昭和30年頃は旧滝保育所のところへ茶屋があつて、おじいさんが一人でやっていたよな。

**(事務局長)** 中郷には、滝桜以外にも名木があるよな。直径が30センチ以上の木を中郷の名木マップとして作ろうとしたこともあつたね。桜では、「芹ヶ沢桜」と「夫婦桜」を町に申請して、町で認定されたよな。

**(大内)** 貝山集会所の桜も「薬師桜」という名称で認定されたけど、いつのまに「薬師桜」ってついたので知らなかったよ。

**(宗像)** 中郷で認定されているのは、芹ヶ沢の「芹ヶ沢桜」と込木の「地蔵桜」、柴原の「夫婦桜」と「観音桜」、貝山集会所



佐藤 昭一さん  
(芹ヶ沢地区)



大内 啓三さん  
(貝山地区)

の「貝山薬師桜」、滝の「龍光寺桜」と「田村家枝垂れ桜群」の7か所かな。

**(佐藤)** それに滝桜をいれると中郷地区は8本の有名な桜があるよな。

**(宗像)** でも、「夫婦桜」とかは、桜マップに掲載されて、桜の石柱は立っているけど、道が狭くて案内板がないから、どこにあるかよく聞かれるよな。

**(白岩)** 樋渡にある桜は、認定はされてないけど、毎年、写真を撮りにくる人がいるよ。中郷には、滝桜や認定されている桜をはじめとして、たくさん桜があるよな。

**(事務局長)** これらの桜は、これからも、ずっと残していきたいものだよな。

— 中郷では、桜以外にも花いっぱい運動がさかんですよな。

**(事務局長)** そうなんだよ。花いっぱい運動は、ほかの地域でもやっていると思うけど、中郷の花いっぱい運動は、約1万8千本の花を植えていて、町全体の約8割くらいは、やっているんじゃないかな。

花いっぱい運動で植える花の苗は、貝山で栽培していて、それを各地区にも配っているからね。

**(阿部)** 花いっぱい運動は、平成7年のふくしま国体の頃からやるようになったのかな。

**(事務局長)** いや、もっと前からだから、かなり長く続いているよな。



毎年、中郷地区で行われている花いっぱい運動(込木)

ばい運動の評価もしていたね。表彰もしていたよな。

**(事務局長)** 前は審査して、ランク付けをして表彰もしていたんだけど、今はやっていないんだ。花を植える条件が違うので、よいところは毎年よいけど、道路脇で植える場所がないなど、植える条件が悪いところもあつてね。

まちづくり協会の景観部では、花いっぱい運動以外にも、遊休農地の活用として、春田大橋の東側に約20アールくらい、菜の花を植えているんだよ。見頃は、桜が咲くちょっと前あたりがよい時期だね。

今は、20アールくらいだけど、空いているところなどを利用して、少しずつ大きくしながら、今後も続けていく予定だから、みんなにもぜひ、見てほしいよな。



村上 一夫さん  
(中郷まちづくり協会事務局長)

各地区の伝統行事など



柳沼 祐次さん  
(春沢地区)

— 各地区の昔からの行事などを教えてくださいませんか。

■ 老年部 (貝山地区)

**(大内)** 貝山地区では、貝山地区運動会のほかに老年部というのがあつて、地元で葬式ができたときに念仏をあげに行くんだよ。

**(阿部)** 柴原でもやっているけど、今は斎場やる家庭が多くなったから、あまりやる時がないんだよな。

**(大内)** 貝山でも、斎場やる人が多くなってきたから、お通夜に行つて念仏をあげるようにしているよ。

老年部は60歳以上が加入することになっていて、今は70人くらいで、みんな元気で活動しているよ。

■ 庚申様祭 (春沢地区)

**(柳沼)** 春沢では、春と秋の祭はやっているね。春沢には庚申様といって、「ひのえさる」の日に集まって、33回の念を唱えて、その会が33回目になると大きな祭りをやるんだよ。33庚申とって、宿を決めて、餅をついたりしてね。

どこの部落の入り口にも庚申という石碑があるんじゃないかな。部落の守り神で、流行り病を押さえるためのものだからね。昔から、流行り病がきても一人で収まると言われているよ。